

R6年度 事業名	統計協会運営補助事業
R5年度 事業名	統計協会運営補助事業

総合戦略 体系	513	体制・組織強化の取組	体制・組織強化の取組	効率的な行政運営
------------	-----	------------	------------	----------

PLAN 計画	部署名	行政管理課		開始年度	1982	終了年度	9999
	目的	各種統計調査を円滑に運営するために、市統計協会員が統計調査に関する知識を深め、技術の向上が図るとともに、協会の活動を通じて広く統計事業について普及に寄与するため、市統計協会の活動を支援する。					
	概要	鯖江市統計協会への活動補助金を交付するとともに、協会活動に対してアドバイスをを行う。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	法に基づく統計調査を実施するには、現状では協会の協力が必要不可欠であり、自主運営に向け、協会の庶務事務を援助している。		
	現在	補助金等交付					

	活動指標									
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	※設定困難			目標値						
				実績値						
	成果指標									
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	研修会の開催回数		回	目標値	1	-	-	1	0	
				実績値	-	-	-	1		
	計算 根拠	研修会の年間開催回数		達成率	-	-	-	100		
				実数値						
				ランク	-	-	-			
	前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	180	160	160	0	0		事業タイプ	単独事業
	決算額	0	0	0	0	0		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	2	5	1	601	市統計協会補助金等	50	0
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	0

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	7
点数区分	0点～8点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止
判定	事務改善または 廃止・休止

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☐ 進展している ☒ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	休止
取組内容	研修会の開催の可否を含め、今後の協会の在り方を検討する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	新型コロナウイルス感染症の影響以降、統計協会が活動休止状態となっているため、活動補助金は交付していない。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	会員数の減少および会員の高齢化。調査は行うが協会には入りたくないなどの意見が年々増えている。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	令和5年度までは鯖江市統計協会は活動休止状態となっていたが、令和7年度に実施される国勢調査を含め、今後の法に基づく統計調査を実施していくためには、統計協会の協力が必要不可欠である。新規の統計調査員には、鯖江市統計協会への加入を案内するとともに、統計調査の確実な実施に向け 様々な連携・協力を図っていく。
	R7方向性⇒	事務改善(市民等との協働を導入・拡大)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒